

戸野 周りに相談する人がいないと、そういうことになると思います。隣近所とのつきあいとか、コミュニケーションが大切ですね。特に都会では、そのへんが難しいかもしれません。

司会 大山町では2月から、児童・家庭相談員と相談専用電話を設置しました。そういう制度の整備とは別に、周りがフォローすることも大事なのでしようね。

村河 なにか事件があると「母親はどうしていたか？」とよくいわれますが、「父親はどうだったのか？」があまり言われない。父親が家庭に戻りたくても戻りにくい雰囲気があります。会社や社会が中心で家は二の次、というような。そのようなことにジレンマを感じることもあります。やはり家族の中のコミュニケーションが大切です。家庭が癒される場にならないといけないと思います。そうすれば、思春期の子どもたちが引き起こす問題も減ってくると思っっています。

子どもを見られないときに助けがほしい

——子育てでだれかの力を借りたいと思ったことはありますか？

林原 妻が入院したときに、娘の世話をしてもらうため、遠くにいる両親に来てもらったこ

とがあります。

奥野 いままでではなかったけど、これからあるんじゃないかと思えます。

戸野 共働きなので、子どもが見られないときに力を借りたいですね。うちは、両親が町内にいるので助かっています。村河 うちは8人家族なので



▲4人のお父さんと家族のみなさん

(笑)。お互いに、適度な距離感”を持ち、助けてもらいながら暮らしています。

司会 みなさん、ファミリィ・サポート・センターは知っていますか？ 子育ての手助けを仲介する町が運営するシステムなのです。

村河 一応は知っていますが、詳しいことはわかりません。

司会 1月に全戸配布した子育て支援ガイドブック『てだそ子そだて』にも掲載しています。

奥野 そういえば、確かにそれで見ました。

村河・戸野・林原 その冊子の表紙は見ましたが、中は読んでいません(笑)。

司会 それはいけませんね(笑)。ぜひ読んでください。今日はみなさんにさしあげます。

思いやりと礼儀を身につけて

——子どもへの願いや夢を聞かせてください。

奥野 曲がった性格にならない

戸野雅弘さん(48歳・御来屋2区) 3児の父(15歳男・5歳男・3歳男)。境港市の会社に勤務。共働き。「今日のメンバーの中で、司会者を除けば私が最年長」と自己紹介。オムツ替えを得意技としていたが、今は子どものオムツもとれ、技を発揮する機会がなくなったことを嘆く。今は元気あふれる子ども達との“闘い”に多忙な毎日。



いこと。そして自分で望んだ方向に向かってがんばってほしい。親としては、それをバックアップしていきたいです。

林原 人に対する思いやりをもち、礼儀を身につけてほしいですね。